

# JICA (独立行政法人 国際協力機構) による現場視察 が実施されました

平成23年台風12号で発生した大規模斜面崩壊で河道閉塞が発生し、紀伊山地砂防事務所でその対策を行っている赤谷地区（奈良県五條市大塔町）において、JICA(独立行政法人 国際協力機構)が実施する研修『2016年度課題別研修“インフラ(河川・道路・港湾)における災害対策(A)コース”』による現場視察が実施されました。

開発途上国から来られた研修員の方々は、各国において国造りの中心となって働く技術者や行政官などであり、日本の技術や知識を得るために担当者の説明に熱心に耳を傾けられました。



- 実施日:平成28年6月14日(火)  
午後2時～午後2時45分
- 場所:奈良県五條市大塔町地先
- 参加者:研修員 他計16名  
(セーシェル、モザンビーク、チリ、  
アゼルバイジャン、マレーシア、  
ネパール、バヌアツ、フィリピン、  
トルコ、ガイアナ、ペルー  
以上11カ国より参加)  
紀伊山地砂防事務所  
(木村副所長、内海建設監督官)



【崩壊地状況】

## 研修員からの質問

- ・ 深層崩壊による直接の被害はどうか
- ・ 斜面对策の計画はあるのか
- ・ 湛水池の水処理はどうしているのか
- ・ 被災当時、周辺の状況はどうだったのか

## 研修員の感想

日頃見ることがない大きな現場に驚きました。  
とても有意義な時間を頂き、ありがとうございました。

## 【問い合わせ先】



国土交通省 近畿地方整備局  
紀伊山地砂防事務所 工務課  
〒637-0002 五條市三在町1681  
TEL 0747-25-3110 (代表)



【質問する研修員の方々】



【現場説明状況】